

富士セイラ 画像選別装置を販売

自社の品質管理ノウハウ搭載

富士セイラ㈱(本社=東京都品川区東大井1-3-25、高須俊行社長)

では、自社における品質管理及び保証実績、ノウハウ、各種検査業務や専用装置導入稼働の経験などをベースに、異業種連携に取り組む関連企業の協力を得て、オリジナル設計開発の「画像選別装置」=写真左=を製品化し販売を開始した。使用者のニーズに合わせたカスタマイズ対応が可能。

同社では、マイクロフアスナー・小ねじ類など小径サイズを中心に、シールアップ@スクリーンなどの開発品を含めて多種多様なアイテムの生産をおこなっている。近年では顧客の変化するニーズに際するため、6段パーツフォーマーの導入によって生産サイズ拡大と

複雑形状等への対応領域を拡張、高付加価値化指向の生産体制を構築している。

また、顧客の様々なニーズを満たすために幅広い生産ネットワークを確立して、協力企業との緻密な連携のもとに多彩なアイテムの迅速調達をおこなっている。それらの

品目を列挙すると、精密機械加工品、ダイカスト・鍛造品、サブ・アッセンブリ品、治工具や省力化機器など多岐にわたる。

そのような中で、納入品ごとに異なる品質管理並びに品質保証の仕組みづくりに努め、メーカー機能と商社機能を高次元

に融合した特徴のもとに、製品そのものに加えて確かな信頼性の提供もおこなっている。

同社では、今後も市場や顧客のニーズは複雑化の傾向を辿っていくものとみて、グローバル経済下での競争力のひとつとなる品質の重要性を踏まえ、データの集約による安心の具体化策のひとつとして「画像選別装置」を開発した。

同装置は、かねてより異業種連携に取り組んできた関連企業の協力を得て、同社が永年培ってきた品質管理及び保証実績、ノウハウ、各種検査業務や専用装置導入稼働の経験などをベースに、使用者の操作性やコストパフォーマンスなどを徹底追求して、独自の設計により製品化されたものである。

主な用途は、専門の検査員によるシャフト、板金・プレス、樹脂成型な

どの部品に対する寸法計測選別。個人個人の能力差や不均等計測、ムラ発生などの懸念があり、さらには量産品では現実的に不可能とされているような分野でも、計測選別が可能である。

【装置の概要】

▽最大選別対象部品=φ14mm×100mm。▽検出精度=±0.0137の微小な寸法差異を検出。▽処理速度=20本(個)/分。対象部品の形状、確認項目によって異なる。▽参考販売価格=200万円より(確認

項目5箇所の標準仕様の参考価格)。

なお、同装置は寸法計測選別の対象部品における形状や寸法なども相談に応じて、確認項目の増幅など使用者の要望ごとのカスタマイズ化対応ができる。

同社では、先般開催された第20回機械要素技術展に参加をおこない、ブース内での実際の稼働によるデモを通じて付帯機能を紹介され、多数の来場者から注目を集めると共に導入に前向きな具体的な引き合い等の商談場面がみられた。

問合せはTEL03-3471-2902、Eメールアドレスinfo@fuisseira.co.jp。

co.jp。ホームページアドレスwww.fuisseira.co.jp。

